

助成者	柴田 京子	活動期間	2023年4月～2026年3月（予定） 活動中
所属機関	特定非営利活動法人 地球市民の会	職 名	ミャンマー事業プロジェクトマネージャー

ミャンマー・山岳少数民族地域における若者発信での「分別でゴミを資源に」推進事業

【活動場所】 ミャンマー シャン州、ピンラウン郡の3 村

【事業目的】 分別によるゴミの資源化実践、山岳少数民族地域発信で適切なゴミ処理方法の普及を通じ、環境負荷を減らす地域の仕組みを作る。ミャンマーの村落部では、ゴミの収集はなく、分別の意識もない。一方で、プラスチックの袋や容器の多用と無秩序な投棄、生ゴミの放置により、水質・土壌汚染や発生した虫の媒介による下痢や嘔吐等が引き起こされている。しかし、このようなゴミが原因となる問題について知識のない人が多い。そこで、現地NGOや地域の若者たちとの協働で地域を巻き込む形での活動を実施、地域住民の意識改革を促し、発信していくことで将来的に本事業をモデルとして周辺地域に活動を波及させていく。

ゴミ拾いキャンペーンの様子



先進地視察の様子



【活動内容】

- ①ゴミの分別指導：各家庭・学校・僧院などにゴミ箱を設置し、研修で指導
- ②ゴミ収集体制整備：集落外にゴミ捨て場を整備し、収集は2週に1回実施
- ③ゴミの資源化：生ゴミ堆肥作り実施（生ゴミ堆肥を使用したモデル菜園設置）
- ④啓発活動：研修とゴミ拾いキャンペーンの実施
- ⑤先進地視察による経験の共有
- ⑥活動の発信と動画教材の作成
- ⑦「環境祭り」の開催：年1回、活動の発表とともに、楽しい催しで活動を広める。

【活動状況】

上記活動を3年間行う予定であり、①～⑥迄の事業はほぼ予定どおり順調に進んでいる。環境祭りは2～3月に開催予定。1年目の先進地視察としてティータリー村を視察。活動を実施する上での困難や工夫などの発表もあり、質疑応答も行われた。活動の様子は、委員会が撮影してSNSを活用して発信を行なう。今後動画も作成して発信する予定。